

平成28年度スーパーグローバル大学創成支援 (SHARE-Q)

事業報告書

1. 留学生獲得のための海外プロモーション活動

(1) プロモーション活動の概要
① プロモーション活動を行ったプログラムの名称： アジア・環太平洋の看護学教育の拠点となるプログラム
② プロモーション時期： 1. 平成29年2月20日～平成29年2月23日マヒドン大学（タイ/アジア） 2. 平成29年3月1日～平成29年3月3日高雄医学大学（台湾/アジア） 3. 平成29年3月21日～平成29年3月23日香港大学（中華人民共和国香港特別行政区/アジア） ※時期が申請時と異なる場合は、その理由を簡潔に記載してください。 〔時期が異なる理由〕
③ 出張者の職・氏名： 1. マヒドン大学：教授・鳩野洋子、谷口初美 2. 高雄医学大学：准教授・川田紀美子、講師・野口ゆかり 3. 香港大学：教授・大喜雅文、樗木晶子、加来恒壽、講師・丸山マサ美
④ 訪問機関(国/地域)： 1. マヒドン大学（タイ/アジア） 2. 高雄医学大学（台湾/アジア） 3. 香港大学（中華人民共和国香港特別行政区香港/アジア） ※訪問機関(国/地域)が申請時と異なる場合は、その理由を簡潔に記載してください。 〔訪問機関(国/地域)が異なる理由〕 当初、ハワイ大学（USA/アメリカ）を予定していたが、当年の国際フォーラムへのハワイ大学からの教員招聘により留学生獲得に関する話し合いが出来たため、新たにアジア No.1の香港大学との部局間協定の締結を目指し、香港大学に教員を派遣した。
⑤ プロモーション対象者・参加人数：8名
⑥ プロモーション活動により得られた成果 ※具体的かつ簡潔に記載してください。 1. マヒドン大学、高雄医学大学に関しては、H29年度においても学部生の短期交換留学（2週間）が継続する事となった。 2. 香港大学看護学部との部局間協定が成立し、香港大学教員の本校への招聘と本学学生の短期派遣がH29年度から実施されることとなった。

## (2) プログラムの今後の展開 [平成 29 年度以降の計画]

※具体的かつ簡潔に記載してください。

H28 年度同様の 3 大学 (マヒドン大学、高雄医学大学、香港大学) と新たにハワイ大学の留学生獲得のための海外プロモーション活動を行う。

1. マヒドン大学 (タイ/アジア)
2. 高雄医学大学 (台湾/アジア)
3. 香港大学 (中華人民共和国香港特別行政区/アジア)
4. ハワイ大学 (USA/アメリカ)

## 2. 部局独自の短期留学プログラム（派遣・受入れ）

### 2-2. 短期留学プログラムの運営・拡充

(1) 経費配分を受けたプログラムの概要
<p>① プログラムの名称： Nursing Overseas Program in Kyushu University</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>既設の短期留学プログラム    <input type="checkbox"/>SGU 経費により新規開発した短期留学プログラム  <small>※該当するカテゴリを<input checked="" type="checkbox"/> (チェック) してください。</small></p>
<p>②実施形態： <input type="checkbox"/>派遣のみ / <input type="checkbox"/>受入れのみ / <input checked="" type="checkbox"/>派遣・受入れ  <small>※該当する形態を<input checked="" type="checkbox"/> (チェック) してください。</small></p>
<p>② 相手機関(国/地域)：高雄医学大学（台湾/アジア）、マヒドン大学（タイ/アジア）</p>
<p>③ プログラム開始時期：平成28年7月、11月</p>
<p>④ 平成28年度のプログラム実施期間・参加人数： <small>※渡航日は除いてください。</small></p> <p>マヒドン大学</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>派遣 平成28年8月29日 ～ 平成28年9月10日、2人  <input checked="" type="checkbox"/>受入れ 平成28年7月18日 ～ 平成28年7月30日、2人</p> <p>高雄医学大学</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>派遣 平成29年3月2日 ～ 平成29年3月13日、3人  <input checked="" type="checkbox"/>受入れ 平成28年11月18日 ～ 平成28年11月25日、8人</p>
<p>⑤ プログラムの目的： <small>※具体的かつ簡潔に記載してください。</small></p> <p>看護・医療の質の向上のためグローバルな視点で、課題解決のために積極的にその国の看護学生等と共に考える力を養う。アクティブラーナーとしての看護職の専門的人材養成のための実践的教育プログラムを運営・拡充することを目的とする。</p>
<p>⑦プログラムの内容：</p> <p><small>※実際に行った教育内容及びプログラムスケジュール等を具体的かつ簡潔に記載してください。</small></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受入れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実際に行なっている授業に本学の学生と共に参加した。</li> <li>2. 本学の国際保健学フォーラムでの特別講演に参加し、招聘講師の講義を受け、また、学生の Student meeting で学校やお互いの文化についての紹介を英語でプレゼンテーションし相互理解と親睦を促進した。</li> <li>3. 大学病院での見学実習に臨み、実際の医療現場を体験した。</li> <li>4. 福岡の歴史、文化に触れるため社会見学を設けた（大宰府天満宮、国立九州博物館）</li> </ol> <p><input checked="" type="checkbox"/>派遣</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実際に行なっている授業に本学の学生と共に参加した。</li> <li>2. クラスでお互いの学校や文化についての紹介を英語でプレゼンテーションし相互理解と親睦を促進した。</li> <li>3. 大学病院での見学実習に臨み、実際の医療現場を体験した。</li> </ol>

4. 地域医療の地区診断、高齢者ホームへの見学また、歴史、文化に触れるため社会見学が行われた。

## (2) プログラム運営・拡充実績

### ⑧平成 28 年度の実績：

※プログラムの運営・拡充のために、いつ頃何をしたのか、具体的かつ簡潔に記載してください。

1. 国際ワーキング委員会を設け、マヒドン大学と高雄医学大学の学生受け入れ・派遣に関して、平成 28 年 4 月当初から留学プログラム作成のために病院等関係施設、各授業担当者、宿泊先との打ち合わせを実施した。また、相手先の学生情報 (TOEFL Score)、感染症検査等の証明を依頼した。
2. 受入れ学生が自国や学校、カリキュラム、文化等のプレゼンテーションの依頼をし、相互理解を促す準備を計画した。
3. 毎日の学びの後には、ブリーフィングを設けそこで語られた事を、ジャーナルとしてまとめさせて、1 冊の短期留学ジャーナルを作成した。
4. 11 月の国際保健学フォーラム時に相手校の教員を招聘し、学部・大学院での特別講義、Student Meeting においても特別講演を依頼し、直接英語での授業、講演を聞く機会を得た。また、短期留学の学生と本学の学生によるプレゼンテーションやイベントにより相互理解と親睦が深まり国際交流が豊かになった。

### ⑨本経費の使途／目的：

※本経費により執行した全ての事項について、⑨の内容を記載してください。

外国人招聘 (旅費、謝金) : H28, 11/16~11/19 高雄医学大学より Dr.Fan-hao (94,910 円)  
外国旅費 : H29,3/1~3/3 学生派遣に伴う付き添い教員に係る旅費;高雄医学大学へ教員 2 名  
「留学生獲得のための海外プロモーション活動」兼ねた。(25,1601 円)  
国内旅費 : 地域医療、歴史的・文化的名所旧跡見学; 櫛田神社周辺、大宰府天満宮、国立九州博物館へのバス借り上げ代 (1,300 円)  
会議費 : 学生ワーキンググループに係る企画・運営費; 受入・派遣のための写真等記録物作成に係る物品代、無線ルーター、記念品、修了証書ケース、DVD-RW(42,643 円)  
消耗品 : 文具; ノート、ペン、九大グッズ (73,746 円)  
合計 464,200 円/600,000 円 残金 135,800 円は【留学生獲得のための海外プロモーションに係る経費】で使用した。

⑩本経費の活用により得られた成果：※具体的かつ簡潔に記載してください。

外国人招聘：高雄医学大学より Dr. Fan-hao 先生を招聘したことにより、国際フォーラムの Student Meeting での英語による特別講演、学部生や院生への講義で本学の学生だけでなく教員のモチベーションの向上につながった。

外国旅費：2 週間の学部生 3 名の短期留学に随伴し、派遣先の学生生活、プログラムの状況が確認でき次年度の交換留学（受入・派遣）の継続の意思を確認する事ができた。

国内旅費：School Bus にて、受入れの高雄医学大学の学生 8 名、招聘教員、本学 Student Buddies、教員総勢 20 名で日本の歴史・文化に触れることが出来、また、親交を深める良い機会となった。

会議費、消耗品：本学各学年の Student Buddies による meeting で日々のキャンパス案内、休日の city tour, welcome party, farewell party の企画運営がスムーズに実施でき、受け入れ学生も快適に本学学生と過ごせ、良い九州大学での思い出作りができた。

### (3) プログラムの今後の展開 [平成 29 年度以降の計画]

※具体的かつ簡潔に記載してください。

1. マヒドン大学へ本学学部生 2 名を H29 年 8 月に派遣、10 月国際フォーラム前後に 2 名受け入れ予定
2. 高雄医学大学へ本学学部生 2~3 名を H30 年 3 月に派遣、10 月国際フォーラム前後に 2~3 名受け入れ予定
3. 香港大学の教員 1 名を国際フォーラム 10 月に招聘、H30 年 3 月本学学生 2~3 名派遣予定
4. ハワイ大学に関しては、共同研究と H30 年度の大学院生受け入れの準備と情報収集

備考)

- ・本経費の配分を受け、複数のプログラムを実施した場合は、(1) (2) (3) を複写の上、プログラム毎に記載してください。
- ・配分された経費を使用しなかった場合、又は余剰が生じた場合は、別途、その理由を記載してください。

平成28年度スーパーグローバル大学創成支援 (SHARE-Q)

事業報告書

1. 留学生獲得のための海外プロモーション活動

(1) プロモーション活動の概要
①プロモーション活動を行ったプログラムの名称：
②プロモーション時期： 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日  ※時期が申請時と異なる場合は、その理由を簡潔に記載してください。 [時期が異なる理由]
③出張者の職・氏名：
④訪問機関(国/地域)：  ※訪問機関(国/地域)が申請時と異なる場合は、その理由を簡潔に記載してください。 [訪問機関(国/地域)が異なる理由]
⑤プロモーション対象者・参加人数：
⑥プロモーション活動により得られた成果 ※具体的かつ簡潔に記載してください。
(2) プログラムの今後の展開 [平成29年度以降の計画]
※具体的かつ簡潔に記載してください。

## 2. 部局独自の短期留学プログラム（派遣・受入れ）

### 2-2. 短期留学プログラムの運営・拡充

(1) 経費配分を受けたプログラムの概要
①プログラムの名称： アジアを対象とした医療放射線技術交流とリーダーシップ形成プログラム <input type="checkbox"/> 既設の短期留学プログラム <input checked="" type="checkbox"/> SGU 経費により新規開発した短期留学プログラム ※該当するカテゴリを <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) してください。
②実施形態： <input checked="" type="checkbox"/> 派遣のみ / <input type="checkbox"/> 受入れのみ / <input type="checkbox"/> 派遣・受入れ ※該当する形態を <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) してください。
③相手機関(国/地域)： タイ、韓国、台湾/アジア諸国
④プログラム開始時期： 平成28年 4月
⑤平成28年度のプログラム実施期間・参加人数： ※渡航日は除いてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣    平成 28年 9月 8日 ~ 平成 29年 3月 31日、 7 人 <input type="checkbox"/> 受入れ    平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日、 人
⑥プログラムの目的： ※具体的かつ簡潔に記載してください。 本プログラムは、アジアのなかで保健医療、放射線技術科学、医学物理学等の教育を実施し、学部教育と大学院教育により優秀な技術者・教育者・研究者を育成している有名校に、医学系学府保健学専攻医用量子線科学で医療放射線技術等を学んでいる大学院生を在籍中に派遣し、我国で学んだ医療放射線関連技術を他国の保健医療の改善にどのように活用できるのかを自ら考え始める動機づけとなることを目的とする。
⑦プログラムの内容： ※実際に行った教育内容及びプログラムスケジュール等を具体的かつ簡潔に記載してください。 保健学専攻の大学院生を、高麗大学校（韓国）、国立清華大学（台湾）、マヒドン大学（タイ）、チュラロンコン大学（タイ）に短期留学として派遣した。派遣先の大学教員を九州大学に招聘し、学生の海外留学への魅力を伝えた。九州大学の教員による各研究室で行っている研究の紹介とリクルート活動を実施した。

## (2) プログラム運営・拡充実績

⑧平成 28 年度の実績：

※プログラムの運営・拡充のために、いつ頃何をしたのか、具体的かつ簡潔に記載してください。

平成 28 年度に保健学専攻の大学院生を、韓国の高麗大学校（3 名）、台湾の国立清華大学（2 名）、タイのマヒドン大学（1 名）、チュラロンコン大学（1 名）、3 週間から 3 か月派遣した。平成 28 年 11 月にチュラロンコン大学の教員を招き、国際フォーラムで学生に対して海外留学への魅力を伝えた。平成 29 年 2 月に高麗大学校の教員 7 名を招きシンポジウムを開催し、各大学の概要や研究内容について議論した。平成 29 年 3 月に高麗大学校へ本学の教員を派遣し、来年度以降の留学生の派遣や受入れ、共同研究について議論した。

⑨本経費の使途／目的：

※本経費により執行した全ての事項について、⑨の内容を記載してください。

平成 29 年 3 月に高麗大学校へ教員を 2 名派遣し、来年度以降の留学生の派遣や受入れ、留学時の研修内容や大学間の共同研究について議論した。

⑩本経費の活用により得られた成果：※具体的かつ簡潔に記載してください。

平成 29 年度以降の大学院生の派遣について継続する確約を得た。また高麗大学校から、大学院生を 1 名派遣したい旨の相談があり、受け入れる予定としている。期間や日程等の詳細については今後調整する。

## (3) プログラムの今後の展開〔平成 29 年度以降の計画〕

※具体的かつ簡潔に記載してください。

これまでの成果を他大学への進出の足掛かりとし、学生の教育・交流のみのための留学ではなく、互いの専門性を生かした研究としても成果を出せるよう期間や内容について教員間同士の議論を活発に進め、大学間の共同研究にも発展できるプログラムとする。

備考)

- ・ 本経費の配分を受け、複数のプログラムを実施した場合は、(1) (2) (3) を複写の上、プログラム毎に記載してください。
- ・ 配分された経費を使用しなかった場合、又は余剰が生じた場合は、別途、その理由を記載して

ください。

平成28年度スーパーグローバル大学創成支援 (SHARE-Q)

事業報告書

1. 留学生獲得のための海外プロモーション活動

(1) プロモーション活動の概要
①プロモーション活動を行ったプログラムの名称： 医学物理士養成のための大学院グローバルプログラム
②プロモーション時期： 平成28年10月27日 ～ 平成28年10月28日 タイ 平成28年12月13日 ～ 平成28年12月13日 ベトナム 平成29年 3月13日 ～ 平成29年 3月14日 マレーシア  〔時期が異なる理由〕
③出張者の職・氏名： 教授・有村秀孝
④訪問機関(国/地域)： タイ, ベトナム, マレーシア/アジア  〔訪問機関(国/地域)が異なる理由〕
⑤プロモーション対象者・参加人数： 150名 (訪問大学の延べ人数)
⑥プロモーション活動により得られた成果 ベトナムの University of Science-Vietnam National University, Ho Chi Minh City (US-VNU-HCMC)から国費留学の1名の希望者があり、現在申請書を共同で作成中である。
(2) プログラムの今後の展開〔平成29年度以降の計画〕
アジアだけでなく世界を視野に入れ留学生を受け入れ、留学生の出身大学との国際共同研究を推進する教育研究プログラムを開発する。

## 2. 部局独自の短期留学プログラム（派遣・受入れ）

### 2-2. 短期留学プログラムの運営・拡充

<b>(1) 経費配分を受けたプログラムの概要</b>
プログラムの名称：医学物理士養成のための大学院グローバルプログラム
① <input type="checkbox"/> 既設の短期留学プログラム <input checked="" type="checkbox"/> SGU 経費により新規開発した短期留学プログラム ※該当するカテゴリを <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) してください。
②実施形態： <input type="checkbox"/> 派遣のみ / <input checked="" type="checkbox"/> 受入れのみ / <input type="checkbox"/> 派遣・受入れ ※該当する形態を <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) してください。
② 相手機関(国/地域)：インドネシア，マレーシア，ベトナム/アジア
③ プログラム開始時期：平成 28 年 10 月
⑤平成 28 年度のプログラム実施期間・参加人数：※渡航日は除いてください。 <input type="checkbox"/> 派遣 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日、 人 <input checked="" type="checkbox"/> 受入れ 平成 28 年 10 月 18 日 ～ 平成 29 年 5 月 31 日、3 人
⑥プログラムの目的：本プログラムでは、アジア諸国から修士または博士課程の留学生を受け入れ、大学院における医学物理学教育を行い、医学物理士を養成する。留学生は自国の大学に所属したまま、本学で医学物理教育を受ける。特に、臨床と理論を繋げる実践的医学物理科目を受講する。このプログラムのユニークな点は、留学生の本籍大学と本学との国際共同研究として実施する点である。本学の所属病院の装置や症例を用いて、最先端の医学物理研究を行う。
⑦プログラムの内容：本プログラムでは、日本に対する深い理解と、多様性を受け入れる素地を兼ね備えた、国と国および人と人の架け橋となる有為な人材を輩出する。本学で養成しようと考えている留学生は以下の通りである。 (1) 医学物理士または医学物理の研究者を目指すグローバルな視野を持つ留学生 (2) 医学物理の教育を受けるための基礎学力を持ち、医学物理に関する深い専門性と論理的思考方法を習得し、その成果を留学生の出身国及び国際社会の健康増進に貢献する意欲のある留学生 (3) 科学的知識や方法論を学び、高度先進技術を修得し、保健・医療・福祉における研究マインドを持った 実践的指導者として、出身国の健康増進に寄与する強い意志のある留学生

## (2) プログラム運営・拡充実績

### ⑧平成 28 年度の実績：

インドネシア Bandung Institute of Technology から 3 名の留学生を 4 か月間受入れて、医学物理教育を行い、国際交流を推進し、現在も継続中である。

マレーシアのマラヤ大学 (University of Malaya:UM, 九大の協定大学, 修士・博士に医学物理コース有) とマレーシア国民大学 (University Kebangsaan Malaysia : UKM, 九大の協定無, 保健学科有, 放射線技師養成コース有) を訪問し、医学物理に関する講義を行い、担当教員と現地学生と交流しながら、交換留学 (派遣と受入) に関する情報交換を行なった。また、国際共同研究の可能性について意見交換を行なった。

### ⑨本経費の使途／目的：

※本経費により執行した全ての事項について、⑨の内容を記載してください。

平成 29 年 3 月 13 日 (月) ～平成 29 年 3 月 15 日 (水) マレーシアのマラヤ大学 (九大協定大学) 及びマレーシア国民大学 (九大協定無) を訪問した本学教員有村秀孝教授の旅費として使用。その目的はマレーシアのマラヤ大学他の諸大学から修士または博士課程の留学生を受け入れ、大学院における医学物理学教育を行い、医学物理士を養成するための大学院グローバルプログラムのリクルート活動を行うためである。

### ⑩本経費の活用により得られた成果：※具体的かつ簡潔に記載してください。

研究専用のマイクロ CT や MRI 等最先端の設備環境が整っているマラヤ大学 Prof. Kwan-Hoong Ng, PhD との国際共同研究を始めることになり、今後も密な交流が続く予定である。したがって、留学生受入れ活動及び国際交流は今後も継続する。

また、ベトナムの University of Science Ho Chi Minh の 1 名の学生から留学希望の打診を受け、現在国費留学の申請を準備中である。

## (3) プログラムの今後の展開 [平成 29 年度以降の計画]

チュラロンコン大学とマラヤ大学との国際共同研究プログラムを開発する。また、マレーシア国民大学とは学術協定が無いので、MOU の締結を検討する。

備考)

- ・本経費の配分を受け、複数のプログラムを実施した場合は、(1) (2) (3) を複写の上、プログラム毎に記載してください。
- ・配分された経費を使用しなかった場合、又は余剰が生じた場合は、別途、その理由を記載して

ください。